

平成28年3月28日

各位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
いちごホテルリート投資法人
代表者名 執行役員 宮下 修
(コード番号 3463) www.ichigo-hotel.co.jp
資産運用会社名
いちご不動産投資顧問株式会社
代表者名 代表執行役社長 織井 渉
問合せ先 執行役管理本部長 田實 裕人
(電話番号 03-3502-4892)

ホテル運営状況のお知らせ (2016年2月度)

いちごホテルリート投資法人(以下、「本投資法人」という。)の2016年2月度におけるホテルの運営状況につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本投資法人が保有する物件全体の客室稼働率、ADRおよびRevPAR

	2016年2月	2015年2月	差額	増減率
客室稼働率	91.8%	91.6%	+0.2%	+0.2%
ADR	8,192円	7,601円	+591円	+7.8%
RevPAR	7,520円	6,960円	+560円	+8.0%

2. 本投資法人が保有する主要ホテルの宿泊部門の客室稼働率、ADR、RevPARおよびホテル売上高

ホテル/項目		2016年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A-B)	増減率
スマイルホテル 京都四条	客室稼働率 (%)	100.3	100.1	+0.2	+0.2%
	ADR (円)	7,879	7,427	+452	+6.1%
	RevPAR (円)	7,898	7,433	+465	+6.3%
	売上高 (百万円)	34	31	+3	+8.5%
ホテルビスタ プレミオ京都	客室稼働率 (%)	88.4	91.1	△ 2.7	△ 2.9%
	ADR (円)	10,793	9,262	+1,531	+16.5%
	RevPAR (円)	9,544	8,435	+1,109	+13.1%
	売上高 (百万円)	25	21	+4	+18.0%
ホテルウィング インターナショナル 名古屋	客室稼働率 (%)	97.6			
	ADR (円)	5,650			
	RevPAR (円)	5,514			
	売上高 (百万円)	41			
ネストホテル 札幌駅前	客室稼働率 (%)	98.0	98.7	△ 0.7	△ 0.7%
	ADR (円)	10,144	8,892	+1,252	+14.1%
	RevPAR (円)	9,943	8,778	+1,165	+13.3%
	売上高 (百万円)	57	50	+7	+13.2%

ホテル/項目		2016年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A-B)	増減率
チサンイン 大阪ほんまち	客室稼働率 (%)	91.0	86.4	+4.6	+5.3%
	ADR (円)	10,115	6,950	+3,165	+45.5%
	RevPAR (円)	9,203	6,005	+3,198	+53.3%
	売上高 (百万円)	35	22	+13	+57.7%
コンフォートホテル 浜松	客室稼働率 (%)	81.4			
	ADR (円)	6,057			
	RevPAR (円)	4,931			
	売上高 (百万円)	28			
ネストホテル 札幌大通	客室稼働率 (%)	96.9	97.4	△ 0.5	△ 0.5%
	ADR (円)	12,228	11,197	+1,031	+9.2%
	RevPAR (円)	11,849	10,906	+943	+8.6%
	売上高 (百万円)	44	40	+4	+9.5%
ヴァリエホテル 天神	客室稼働率 (%)	90.8	94.4	△ 3.6	△ 3.8%
	ADR (円)	10,231	7,211	+3,020	+41.9%
	RevPAR (円)	9,291	6,810	+2,481	+36.4%
	売上高 (百万円)	22	16	+6	+38.3%

(注1) 上述の数値は賃借人から取得した情報を原則としてそのまま記載していますが、一部は賃借人から取得した情報に基づき、本資産運用会社にて集計しています。各月の数値については監査等の手続きを経ているものではなく、個々の数値の正確性について保証できるものではありません。また、上述の各数値は、今後提出する有価証券報告書等の資料に記載の数値と一致しない場合があります。

(注2) 「客室稼働率」は、以下の計算式により求められる数値を記載しています。

客室稼働率＝対象期間中に稼働した延べ客室数÷(対象期間中の全客室数×対象期間の営業日数)

なお、予定していた滞在期間の宿泊料を支払っているにもかかわらず滞在期限前にチェックアウトした客室に別の当日客を宿泊させる場合や、時間利用の場合に、上述「対象期間中に稼働した延べ客室数」に加算することがあり得るため、客室稼働率は100%を超える場合があります。

(注3) 「ADR」とは、平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊売上高合計 (料飲売上、その他売上およびサービス料等を除きます。) を同期間の販売客室数 (稼働した延べ客室数) 合計で除した値の単位未満を四捨五入して記載しています。

(注4) 「RevPAR」とは、1日当たり販売可能客室数当たり宿泊売上高合計 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊売上高合計 (料飲売上、その他売上およびサービス料等を除きます。) を同期間の販売可能客室数合計で除した値を記載しています。

(注5) 「売上高」とは、賃借人が旅行宿泊施設運営事業およびその付帯事業により得た収入のことをいい、単位未満を四捨五入して記載しています。ホテルビスタプレミオ京都およびチサンイン大阪ほんまちにおける店舗に係る賃料は含まれていません。

(注6) ホテルサーブ神戸アスタの運営実績、ホテルウィングインターナショナル名古屋およびコンフォートホテル浜松の前年同月に係る各数値は、賃借人等から開示についての同意が得られていないため記載していません。

(注7) コンフォートホテル浜松の賃借料は固定のため、運営状況による賃借料への影響はありません。

3. 収益向上に向けた取り組み

ネストホテル札幌駅前およびネストホテル札幌大通では、2016年1月に主要な共用部照明をLED化し(投資額約800万円)、ホテル運営費用の削減につながる施策を実施しております。LED化による札幌のネストホテル2物件の年間費用削減額は約140万円を見込んでおります。本投資法人では、好調なホテル需要に伴う売上増加を背景に、ホテル客室改装、レストラン・ラウンジスペースの新設等の戦略的な投資に加えて、照明のLED化等の費用削減につながる施策についても、着実に成果が得られるよう各オペレーターと協議の上実行しており、今後も継続してまいります。

以 上